

目 次

研究班の構成

・ 総括研究報告書

水道システムにおける生物障害の実態把握とその低減対策に関する研究

秋葉 道宏

・ 分担研究報告書

1．国内の浄水場における生物障害の発生および対策実態の把握

秋葉 道宏、岸田 直裕、下ヶ橋雅樹

2．分子生物学的手法によるろ過漏出障害の原因生物の解明

秋葉 道宏、藤本 尚志

3．曝気循環によるアオコ・カビ臭の抑制

秋葉 道宏、太田志津子、今本 博臣

4．生物障害を起こさないための浄水処理技術の開発

秋葉 道宏、西村 修

5．生物障害に対応した持続的な水道システムの検討

秋葉 道宏、高梨 啓和、下ヶ橋雅樹

・ 研究成果の刊行に関する一覧表